

ー英文読解の授業でいかにディスカッションを効果的にするかー

(How can we make discussions more effective in reading classes?)

キー・ワード：ディスカッション／英文読解／ヴィガツキー／異文化体験／協力
(Collaboration)

研究者：小野尚美

研究目的

西洋諸国の教育で影響力のあるソヴィエトの教育学者 ヴィガツキー(Vygotsky)は、子供の言語習得に関していわゆる Zone of Proximal Development に注目し、言語習得や学習におけるコミュニケーションの重要性を説いている。ヴィガツキーによると、この Zone は、実際の学習者の言語能力及び学習能力以上の成長の可能性を表わし、大人との交流 (Social Interaction) や能力のある仲間との協力 (Collaboration) を通して、より高度な考え方を学ぶことができ、現状以上の能力向上を達成することができるとしている。

ESL/EFL 英文読解の授業でも、コミュニケーションの重要性が認められており、しばしば指導法の一環としてディスカッションが取り入れられている。一般的にディスカッションは、英文読解の後に理解した内容について話し合うことにより、分からなかったこと、また、新しい解釈やより効果的な読解法について学ぶことができ、学習能力を高める良い機会であると考えられている。しかし実際は、必ずしも期待通りの効果ばかりを生むわけではないようである。

読む行為は、文字を媒介として読み手が書き手の意図することを理解しようとする一種のコミュニケーション活動である。読み手は、常に自分自身の文化的社会的視点から文章の意味を理解していく。異なる文化背景からなる文章を読む時も、読み手は自分自身の視点を通して異文化を理解する。この研究では、英文読解における異文化理解を深める為に、どのようにすれば学生同士のディスカッションがより効果的な授業活動になるかを調査した。

研究方法

研究調査の対象は、アメリカの英語学校で大学または大学院に入学するために英語を勉強している日本人留学生10人である。これらの学習者の平均アメリカ滞在期間は一年である。学習者の英語力は TOEFL 500点前後の人から600点以上の人までおり、年齢も留学目的もさまざまである。この調査ではこの10人の学習者に二つのアメリカ短編小説を読み、Think Alouds, Discussion, Freewrites という三つの実験に参加してもらった。研究者は、この実験の内容を Qualitative な視点から分析していった。

使用された教材は、1994年 JACET 全国大会で発表した研究と同じく、日系アメリカ人作家とアフリカ系アメリカ人作家によって書かれた短編小説である。日系アメリカ人作家である Jeanne Wakatsuki Houston と James Houston により書かれた Shikata Ga Nai は、日本人留学生にとって文化的背景という点で読みやすい話であり、アフリカ系アメリカ人作家 Angelica Gibbs による The Test は、文化的に馴染みの薄い話である。この

9月23日(月) 研究発表第1室(1110)

二つの文化的背景の異なる話を使用する理由は、学習者が独自の文化的社会的視点を基に、どのようにテキストの意味を理解していくかをみるためである。

研究者は、上記の二つの小説につき、Think Alouds, Discussion, Freewrites という三つの実験をすることにより、ディスカッションの機会を通して10人の学習者がいかにして異文化理解を深めていったかを調査し分析した。Think Alouds と Discussion の内容はテープ・レコーダーに、Freewrites はノートに全て記録された。

分析では、テープやノートに記録されたデータの中で次の点の注目した。
一学習者が、個人レベルのリーディング (Think Alouds) の時疑問に思ったこと、またテキストの解釈をする上で理解する必要があると感じたことを、ディスカッションの場でどのように解決しているか。また、ディスカッションの効果が Freewrites でどのように現われているか。

結果

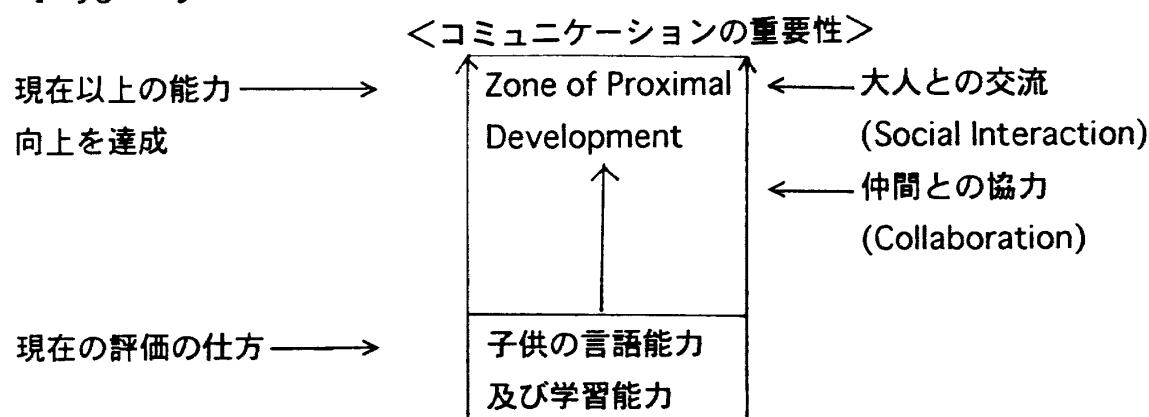
英文読解、特に異なる文化背景をもつテキストを読む時、いろいろな解釈の可能性を知る必要があり、その点でディスカッションは、英文読解を通した学習者の異文化体験を豊かにする良い機会である。この調査でもほとんどの学習者は、個人レベルのリーディングで疑問に思ったことや感じたことについてそれぞれのディスカッション相手と話し合っているが、お互いにとって不明な点を補うために文章の中で手がかりとなる場所から、想像力 (imagination) や知識 (background knowledge) を使い、協力してテキストの内容を理解しようとし、個人レベルのリーディングの時よりも、幅広い解釈の仕方を学ぶこともできた。また、馴染みのより少ない文化背景をもつテキストを読んだ時の方が、学習者は探究心をかりたて、ディスカッションが活発に行われた。しかし、この調査の中の一人の学習者は、ディスカッションの時自分と比べ相手の方が内容をよく理解していたため、自分の読解力のなさに失望し、文章の中に理解の手がかりを見つけようとすることに対し消極的になり、学習意欲が軽減してしまった。

結論

ヴィガツキーの Zone of Proximal Development という言語習得と学習についての考え方は、日本の大学での言語学習の在り方に大きな意味を持っていると常々感じる。教師も学習者も個人レベルでの英文読解の結果、そのテキストの内容理解が正しいか否かに注目して言語能力を評価しがちである。そのためこの調査に参加した学習者のように、ディスカッションの場で自分の読解の仕方が正当であるかどうかばかりこだわり、他の学習者との交流の場でさらに違った意味のとらえかたを学ぶというような発見の機会を求めようとしないのである。こうなるとディスカッションは、却ってマイナスの効果しか生まないことになってしまう。むしろディスカッションなどの交流の機会を利用してどれだけ読解力を伸ばしたかに注目すべきであり、このような機会を学習過程の中の一つの手段として、積極的にテキストの内容を探究するよう学習者等を指導すべきである。

Handout

1] Vygotsky のZone of Proximal Development



2] 研究

* 研究に参加した学生

Pair 1 <A & B>

Pair 4 <G & H>

Pair 2 <C & D>

Pair 5 <I & J>

Pair 3 <E & F>

* 研究過程

Story 1

Tape Record → Think Alouds

Story 2

Think Alouds

Tape Record → Discussion

Discussion

Note-Taking → Freewrites

Freewrites

* 結果分析

学習効果が上がったペア--- Pair 1, 2, 3, & 5

例 1 Pair A & B

[Think Alouds --- "The Test"]

A: "Inspector" という言葉をよく聞くけど、よくわからない。なんとなくイメージがわからない。

[Think Alouds --- "The Test"]

B: マリアンは黒人なのか？または、エリックソンさんが黒人なのか？何か人種問題かなにかが絡んでいるのかもしれない。

[Discussion --- "The Test"]

* Inspector の意味について

B: なんだったっけ、この試験をする人。

A: Inspector?

9月23日(月) 研究発表第1室(1110)

* マリアンとエリックソンさんは、白人か黒人かということについて

A: このエリックソンさんという人もinspectorなのかしら。

B: これは多分、仮免許みたいなもので、年配の人が隣に乗っていれば運転してもいいという意味で、一緒に試験場まで行った。どこかにそんなことが書いてあった。

A: それでInspectorの待っているところに行ったんでしょう。

B: 最初僕は、白人と黒人との何かで――。

A: "A white person shows up" と言っている。

B: ここでまず、マリアンは、もしかしたら、白人なのかな、黒人なのかなといろいろ考えたわけ。そしてそれを説明する文がどこかで出てきて――。

A: "Her dark, competent hands" とあるからこの女の子は、黒人かなと思った。

B: あー、そういう考えもあるかなー。僕は、"Her dark, competent hands" "A white person shows up" とあるから、エリックソンさんが黒人かと思ったんだけど。この"her"は、マリアンかなエリックソンさんのことかな？

[Freewrites --- "The Test"]

B: マリアンとエリックソンさんがそれぞれ白人だったのか黒人だったのか、まだ疑問が残っている。

学習効果が下がったペア--- Pair 4

例1 Pair G & H

[Think Alouds --- "Shikata Ga Nai"]

G: だんだん悲しくなってきた。あまりにも分からないので。この物語が何を言おうとしているのかよく分かりません。おそらくなんかの体験が書いてあるのだろうけど。

[Discussion --- "Shikata Ga Nai"]

H: このタイトルのしかたがないってあるでしょう。

G: しかたがない？

H: タイトルの"Shikata Ga Nai" ってついてるでしょう。

G: あー、本当だ。僕は、これどうやって読むのか分からなかった。

H: その状況の一つが、このお母さんの行動だったんじゃないかしら。

G: 君は、よく把握しているね。がっかり。

H: 納得する？

G: 納得できるような気がする。そうだね。お母さんという人物が、どこから出てきたのかと思っている状態なんだ。僕は、部分的にしか理解できていない。話の筋が、部分的には分かっているけど、段落ごとがどんな関連性があるのかが全然分かっていない。

[Freewrites --- "Shikata Ga Nai"]

G: ディスカッションをしなければ、話の内容が分からずじまいで終わっていた。一人で読んでいた時は、第二次大戦中、捕まっていた日本人の少年の目から見た状況と感想が書かれているくらいしか分からなかった。